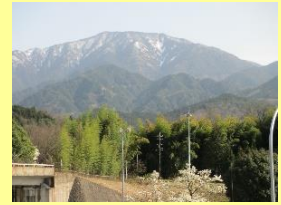




# はなのき

神坂小学校だより 特別号 2022.09.21



## 「かしこく なかよく たくましく」に向かって

～学校評価に係る保護者アンケート集計結果より(R4年度7月)～

校長 高橋 浩之

7月に学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。今後の神坂小学校の教育活動に生かしていきたいと思えます。「効果が上がっている」をA・Bと捉えさせていただきます。

今回、

- ・「効果が上がっている」90%以上……………2・3・6・7・16・17
- ・「効果が上がっている」80%以上……………1・4・5・8・9・10・18

(内、前回より下がっているもの 1・5・8・9)

課題も明らかになっています。

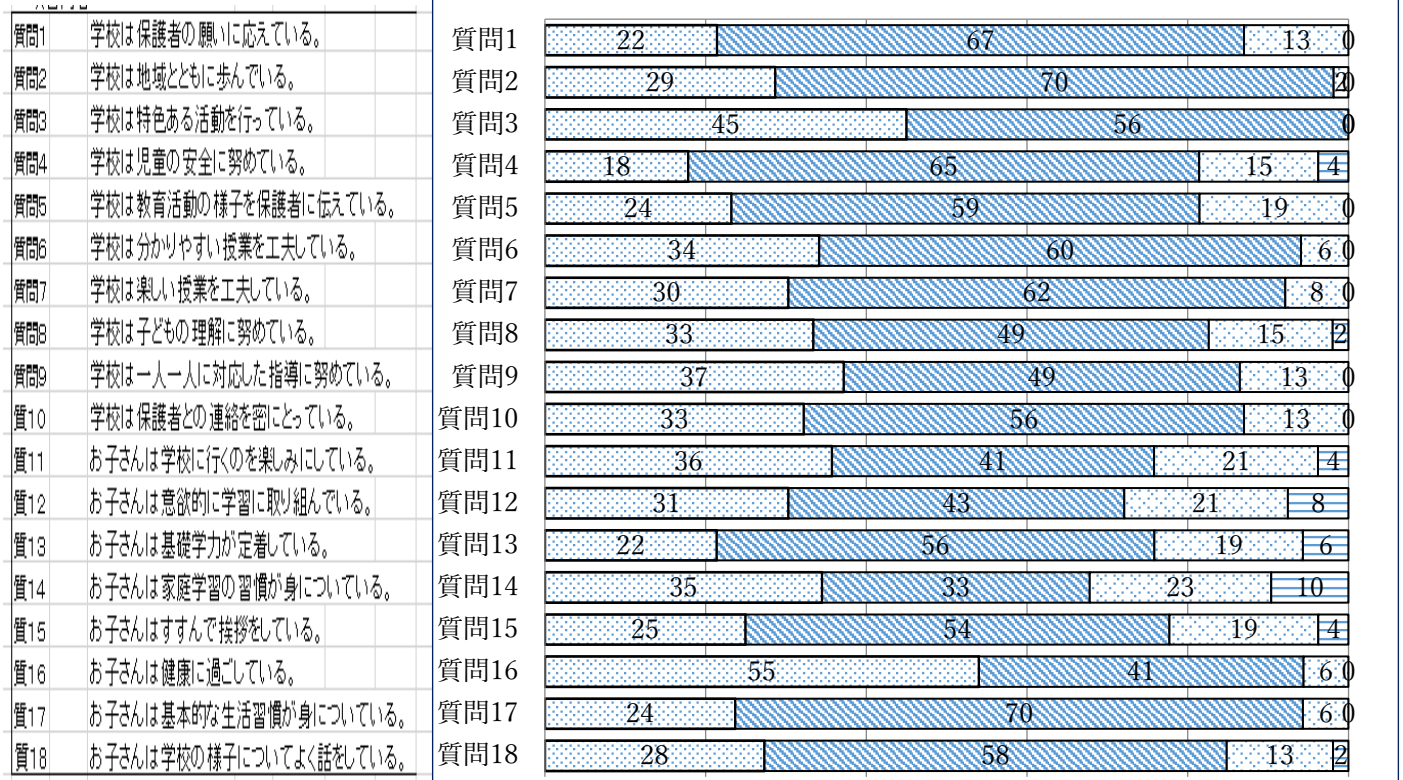
- ・「効果が上がっている」80%未満……………11・12・13・14・15

全体として、昨年度よりもポイントが下回っているものが多くあります。その中でも、「14」は70%を下回りました。また、「11」は、全体の中で一番大きく前回よりもポイントが下回りました。

今回のアンケート結果を受けて、これらの課題に重点を置き、指導の工夫・改善を行ってまいります。そして、全職員で「かしこく なかよく たくましい」神坂小学校の児童を育成し、元気で笑顔のある学校づくりに努めていきます。

### 7月のアンケート結果

0% 20% 40% 60% 80% 100% □ A □ B □ C □ D



アンケートの中で80%に満たない項目に対して、さらに効果が上がるように、次のように取り組んでいきます。

### ○学校に行くのを楽しみにしている(項目 11)

→ 一つ上の学年になり、「〇年生」になったのだから…。という頑張りが多く見られた4、5、6、7月でした。しかし、頑張ったのにできなかったこともあったことと思います。そして、一つ上の学年になり、責任が増したり、役割が増えたり、難しいことが多くなったりしたこともあったと思います。一人一人のがんばりに目を向け、それを認め、共に歩み、できた喜びや達成感をもつことができるよう、自己肯定感を高められるよう、教育活動に努めます。また、仲間と共に活動することの喜びを味わうことができる活動にも工夫して取り組んでいきます。

### ○学習に意欲的に取り組む(項目12)

→ 学習では、ICT などを利用し、必要な情報から自分の考えをもち、仲間と交流する中で考えを深めたり、新たな視点をもったりすることを行っています。そのための知識や技能の定着にも力を入れています。自分で「こんなことができるようになった。」と感じることのできる学習を行っています。また、興味や関心をもつことができるような学習活動を工夫していきます。その中で、自分の考えのもち方、表現の仕方、新しく知る喜び等を感じることができるよう引き続き働きかけていきます。

### ○基礎学力の定着(項目 13)

→ ご存知の通り、2年前に評価の観点が変わり、教科書も変わりました。人工知能・AIなどの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの時代に子供達は、身近な課題を見つけ、自ら学び、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力が求められています。学校での学びを通してこれから生きていくために必要な力を身に付けるための学習を行っています。そのため、与えられた情報や資料から、自分の考えをもつことが強く求められるようになっていきます。今まで大切にしてきた音読、計算、漢字の他に自分の考えをもつことにも力を入れた学習を丁寧に段階をおって行っていきます。引き続き、家庭学習へのご協力もよろしくお願いいたします。

### ○家庭学習の定着(項目 14)

→ 家庭学習の確認を丁寧に行います。また、後期に入り、自主学習等にも積極的に取り組むように働きかけ、自分の興味関心がある事柄への取組の励行やテスト等に向けた計画的な学習への取組についてもクラス内で広めていくことができるように指導していきます。神坂地区は神坂学校として活動しています。「挨拶」や学習における「聞く」「話す」では幼小中12年間を見通して付けたい力や目指す姿を共有しています。(各クラスにも掲示してあります。)今年度は家庭学習においても「小中」の連携を図りたいと思っています。

### ○挨拶(項目15)

→ 子ども達のアンケートでは、94%ができていると答えています。確かに、校舎内では、元気に挨拶をする姿が多く見られます。しかし、学校外では、相手を意識した挨拶を行っているかという疑問が残ります。今年度、4月当初は登校の際に校門で立ち止まり「ありがとうございます。」と付いてきてくださった保護者や地域の方に向かってお礼を言う馬籠の子達の姿がありました。相手意識を大切にしたい指導、声かけ、見届け、認めを広げていきたいと考えています。また、後期に入り、子供達の取組の中に「あいさつ」が出てきた折には、前期に行った取組を基に一歩進めた取組を行えるように働きかけていきたいと考えています。